



DNW-24025 の概要

課題名： 癌細胞浸潤・増殖促進タンパク質Xを標的とした抗癌剤の検証

主任研究者（Principal Investigator）：

稲垣 直之

（国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科）

ステージ： 標的検証前期

【標的疾患】

悪性グリオーマ

【創薬標的】

癌細胞浸潤・増殖促進タンパク質X

【創薬コンセプト】

標的タンパク質Xの機能を阻害することで、癌細胞の脳内浸潤移動、増殖を阻害する。

【ターゲットプロダクトプロファイル】

標的タンパク質Xに対する選択的な機能阻害剤

【モダリティの設定】

核酸、低分子化合物

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことがPIらにより明らかにされている。

- 1) タンパク質Xが発生時期の脳内神経細胞の移動に関与する。この移動のメカニズムが悪性グリオーマや上衣腫の悪性化にも利用されている。
- 2) タンパク質Xの下流シグナルが癌細胞の増殖にも影響を与えている。
- 3) 脳腫瘍以外の種々の癌細胞でもタンパク質Xが発現している。
- 4) グリオーマ患者において、タンパク質Xの発現と病状の予後の悪さが相関する。

【科学的、技術的な優位性】

標的タンパク質XはPIらが見出したものであり、有効な治療法の乏しい悪性グリオーマ等に対する今までにない新たな治療法につながる可能性がある。

【支援ステージにおける目標】

支援期間中に、標的タンパク質X阻害による抗癌活性が安全性の懸念を上回ることが期待できる成績が得られ、タンパク質Xの抗癌剤標的としての可能性が示されること。

【関連特許】

標的タンパク質 X に関する特許を出願済み

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。